

【産山村】

1 人 1 端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

産山村では、令和 3 年度に「産山村教育大綱」を策定し、重点目標の一つとして「産山を誇りに思うひとづくりを目指す」ことを掲げています。この中で「I C T 教育の推進も視野に置き、教材や施設・設備等の充実と、効果的な活用を図る」ことを目標としています。

この目標の実現に向けて、学園や児童・生徒の実情を踏まえた上で、ICT を活用した「新たな教材やアプリ、学習活動を積極的に導入」し、児童生徒の資質・能力の育成を推進していきます。

2. GIGA 第 1 期の総括

1. 経緯と現状

産山村では、GIGA スクール構想に基づき、令和 2 年度に産山学園の児童生徒に 1 人 1 台端末を整備しました。この 5 年間で学習用端末を接続するための ICT 環境の整備を進めるとともに、教育現場での活用を推進してきました。

2. ICT 施策の実施内容

- ・教育支援設備の導入：電子黒板等を随時更新し、ICT 支援員 1 名程度を配置することで、授業の質の向上に努めてきました。

- ・学習活動の充実：整備した ICT 環境を活用することで、児童生徒が情報収集、共同編集、意見共有、ICT 端末を用いた発表など、さまざまな学習活動を行えるようになりました。

3. 課題

- ・教職員間の ICT 活用のばらつき：授業や校務での ICT 活用頻度に教職員間で差があることが課題として挙げられます。

3. 1 人 1 端末の利活用方策

産山村では、GIGA スクール構想第 2 期において、端末を更新し、児童生徒 1 人 1 台の端末環境を引き続き維持します。その効果的な利用促進に向けて、以下の取り組みを進めていきます。

また、第 1 期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させる

ための具体的な対策と改善策を検討していきます。

(1) 1人1台端末を積極的に活用するために

研修の充実に加え、全国や県内の好事例の共有や互見授業の実施を通じて、教職員のICT活用指導力の向上を図ります。また、既存の授業支援アプリの活用を推進し、効果的な授業を支援します。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

1人1台端末等を活用し、児童生徒の課題解決能力や国際感覚、英会話能力の向上を目指しています。また、既存の授業支援アプリ等の利用を通じて個別に適した学習環境を提供し、学習習慣の定着と学力向上に取り組んでいます。今後はデータの可視化等を行い個別最適な指導を実現し、教職員の事務負担を軽減して児童生徒と向き合う時間の確保を図ります。

(3) 全ての児童生徒の学びを保障するために

全ての児童生徒が平等に教育を受けられるよう、ICT端末を活用した授業を推進していますが、不登校児童生徒への支援の充実や健康観察・いじめリスクアセスメントアプリの導入を検討し、児童生徒の健康状態の把握やいじめの未然防止を図り、安心して過ごせる学校環境を整備していきます。